

第120号

発行日

2024年1月吉日

発行責任者

鳴原 久

編集・印刷

齋藤 馨

更に住み良い大旦をめざし みんなで手つなごう！！



年頭挨拶



大旦町会
会長 鳴原 久

大旦町会の皆様、明けましておめでとございませう。令和5年は、5月よりコロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、これまで中止していた行事の復活開催に取り組んだ年でした。桜祭り夏祭りなどの町内行事や地域スポーツ活動などで町会外の皆さんとの交流は、懐かしい思いとお互いの若干の変化なども確認でき、皆様の町会への協力に御礼を申し上げます。

また、残念ながら今年も元日に能登半島地震が発生しました。昨年県内では9

月に台風一三号が襲来し、県内初の線状降水帯がいわき市に発生したため、大規模な被害をもたらしました。復旧は道半ばの様です。私たちも、いつ起きるか分からない災害の備えを、怠らないようにしなければならぬと思います。そして、起きた時は近所同士助け合いも出てきます。町内諸活動は、町内融和をより一層深め、地域の方々との心の距離を縮める役割も担っています。いざという時のため、今年も町会等の各行事へのご支援とご参加をお願い申し上げます。



立派な門松で 新年を迎える

二月二十九日、町会と愛宕神社氏子会が

共同で大きく立派な門松を、集会所と愛宕神社にそれぞれ一対ずつ飾りつけ、新年を迎える準備が整いました。第五班の尾形多門さんから、太く長い青竹、真っ赤な実が付いた南天、生き生きした大きな松等の提供を受け、更には作り方の指導



まちうち町会の山岸さんから注連縄(しめなわ)の作り方を教わる

も頂き、立派な門松が出来上がりました。令和四年はコロナウイルスに翻弄されましたが、参加された皆さんは、来年こそは穏やかな年になることを願い「良いお年を」と挨拶を交わして解散しました。



春日神社

秋の例祭

一〇月一四日
一五日に春日神社秋の祭礼が



執り行われました。あいにくの雨模様でしたが、大旦愛宕神社氏子会の会長でもある齋藤敏正さんが無病息災を祈念し、厳かに剣の舞いを奉納しました。

もちずり地区文化祭 大旦町会活動を紹介

大旦町会では一月五日〜六日に開催された文



化祭に大旦開基四百年関係の資料と、昭和二年に米国から日本の子ども達に贈られた「青い目の人形」を展示し、市内外から両日合わせて三百名近い方々が来場され、平和の尊さを改めて感じ取っていました。



2024年



新年明けましておめでとございませう！
新型コロナウイルス・インフルエンザ感染に油断しないで！



班長と役員との 合同会議開く

一二月三日に定例役員会を開き、今後の諸行事について協議しました。

この役員会を経て、一二月一七に班長と役員との合同会議を開催し、以下の件について周知・要請を行いました。

- 一、令和六年度総会の開催内容について
 - 二、一二月から二月までの諸行事について
 - 三、大旦集会所及び愛宕神社、桜土手清掃について
 - 四、新班長と新役員による会議の開催について
- その他、会長から大旦の中心部を走る市道の平面化工事や、東部支所東側の宅地造成工事に関する情報提供がありました。



定例役員会 (12月3日)



班長・役員合同会議 (12月17日)

各種スポーツ大会に 参加し健闘する

岡山体協主催で一二月三日開催された、バドミントン大会には一三名が参加しました。団体戦で大旦Aが三位に、大旦Bは一回戦で敗退、個人戦では立川篤史・猛史ペアが準優勝を果たしました。

また、一二月三日に開催された卓球大会では、混合ダブルスで出場した「鴻野明恵・清野さくら」チームは二回戦まで進みましたが、「佐川祐介・田村まどか」「渡辺昌広・渡辺愛」チームは健闘空しく一回戦で敗退しました。しばらく振りの参加で、大いに楽しむことが出来たのではないのでしょうか。

今「さくら会」が忙しい！ 会員募集中

さくら会の例会は毎月初め、落葉が多い時期は月初めと一五日の二回実施しています。

最近では、ピンポン玉ゲーム大会、スカットボールゲーム大会、尾形タマ子さん指導



12月15日実施のスカットボール大会



12月1日実施の清掃作業

による健康体操、自治体の関係機関に要請し「笑いの効能」や「人生ノートの書きかき」等をテーマとした講演会や、プロシエクターによるDVD鑑賞等々、工夫した様々なメニューを楽しんでいます。

年齢を重ねてくると、様々な事が起こってきます。自宅でじっとしているよりも、外に出ていろいろな方と会話することが、脳にとっても刺激になることを講演で力説されておりました。

まだ入会されていない方はこの機会に加入され、体を動かしてみませんか。年会費は千五百円です。※連絡先 533-7510 鴻野明恵副会長まで



尾形タマ子さん指導による「元気体操」

コラム

輪島市朝市の思い出

今から二四年前、家内と北陸路を車で走り回った。水見市のホテルで海鮮料理を食し、翌日能登半島の途中まで見物した後輪島市へ移動した。途中、有名な「千枚田」の棚田を写真に収め、輪島のホテルに泊った。翌朝古い町並みが綺麗な通りの朝市を気分良く見物して歩いた。

元日に発生した能登半島の震度七の激震が、この街をめちゃめちゃにしてしまった。テレビに映った現場の光景が痛々しかった。お客さんに掛ける元気の良い売り場のおばちゃんの大らかな声が蘇ってくる。あの朝市はいつになったらまた開けるんだろうか。一日も早い復興を祈らずにはいられない。

あの時の田老町のペンションは

今から一〇年前位前に三陸海岸北部の田老町から唐桑半島まで車で南下した。田老町のペンションでの夜、窓から見えたイカ釣船の明るく美しい漁火が、はっきり頭に残っている。夕食時に家内と食べているところに、板前さんが突然現れ、私達のご飯の上にとさっとウニを盛ってくれ、その配慮が嬉しく、美味しかった味を今でもはっきり覚えていいる。しかし、海から近かったため、恐らく東日本大震災で津波に流されたのではないだろうか。ペンションのあの板前さん達は無事だったのだろうか、あれからずっと心から消えない。

【齋藤 馨】

